

ビブリオバトルin八戸

中村さん(八戸)ら決勝へ

知的書評合戦「第5回ビブリオバトルin八戸」の予選会が30日、八戸市のデーリー東北新聞社と「ほっち」で開かれた。4部門に分かれて行われ、来場者による投票の結果、一般Aと一般B、大学生の部で「チャンプ本」を獲得した3人が11月17日に本社6階メディアホールで開かれる決勝進出を決めたほか、高校生6人が「高校生ファイナリスト決定戦」へ駒を進めた。

本社と八戸学院大の共催。高校生と大学生、一般A、一般Bの各部門に青森、岩手両県から計42人が出場。参加者は制限時間5分間で、小説やエッセイ、(取材班)

ビジネス書など、自身が感銘を受けた作品や他の人に薦めたい本について実体験や感想を交えて魅力を語った。

チャンプ本は会場に集まった発表者と観戦者による投票で決定。来場者は発表を聞き「読んでみたい」と思った本に1票を投じた。

「高校生ファイナリスト決定戦」は決勝戦と同じ日に実施し、6人から3人に絞る。その上で一般Aと一般B、大学生の各部門から勝ち上がった3人を合わせた計6人で「全世代対決」を行い、ナンバーワンのチャンプ本を決める。



出場者がお薦め本の魅力を語ったビブリオバトル
30日、デーリー東北メディアホール

高校生ファイナリスト決定戦に6人

決勝と高校生ファイナリスト決定戦の進出者は次の通り。(敬称略。氏名、市町村、タイトル、著者)

- ◇高校生▷熊谷秀人(16)岩手県大船渡市・「そして、バトンは渡された」(瀬尾まいこ)
- ▷伊勢朋華(16)八戸市・「僕は奇跡しか起こせない」(田丸久深)
- ▷橋爪駿(16)同・「なくなりそうな世界のことば」(吉岡乾)
- ▷工藤蒼大(16)同・「仮面学園」(宗田理)
- ▷角田実咲(16)同・「バッタを倒しにアフリカへ」(前野ウルド浩太郎)
- ▷長谷川陽依(17)同・「ミス・ペレグリンと奇妙な子どもたち(上)」(ランサム・リグズ)
- ◇大学生▷中村健(21)八戸市・「ミッキーマウス幸せを呼ぶ言葉」(アラン)
- ◇一般A▷井ノ上洋一(53)八戸市・「オリバーくん」(ロバート・クラウス)
- ◇同B▷千田哲史(60)青森市・「西郷隆盛はなぜ犬を連れているのか」(仁科邦男)